

平成27年度 指定管理者年度総合評価表
(平成27年4月～平成28年3月実施分)

作成日	平成28年 6月 8日
-----	-------------

■指定管理者概要

施設名	八戸市中居林コミュニティセンター		
所在地	八戸市大字中居林字綿ノ端 13 番地 13		
施設概要	設置目的：地域住民の連帯と自治意識の向上を目的に、地域活動の拠点として設置 建物構造：鉄筋コンクリート造2階建 延床面積 499.48 m ² 大ホール・和室等		
指定管理者	名称	中居林地区連合町内会	
	代表者	会長 中村 進一	
	所在地	八戸市大字中居林字綿ノ端 17-29	
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日		
指定管理者の業務	(1) 会館の利用に関する業務 (2) 会館の施設、設備等の維持管理に関する業務 (3) その他、市長が必要と認める業務		
市所管課 (問合せ先)	福祉部 福祉政策課 指導監査グループ		
	電話	0178-43-9294 (直通)	
	E-mail	fukushiseisaku@city.hachinohe.aomori.jp	

■指定管理者による自己評価

評価	<ul style="list-style-type: none">施設の清掃や周辺の草取りなどの環境美化を徹底し、誰もが利用しやすい環境づくりを目指した。利用者からの意見や要望に迅速に対応した。
今後の目標	<ul style="list-style-type: none">指定避難所として、地域と連携した活動を充実させる。業者による清掃を定期的実施し、施設の快適な環境維持に努めていく。節電・節水をさらに進め、水道光熱費の削減に取り組む。

■市（所管課）の総合評価

評価	<ul style="list-style-type: none">施設の設置目的を踏まえ、関係法令を遵守し適正な施設の管理・運営が行われていた。利用しやすい施設の運営に努めた結果、利用者数が昨年度に比べて増加していた。普段の清掃に加えて業者への清掃業務を年4回委託する等、施設環境の整備に努めていた。
指摘事項	特になし。

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	利用者のニーズに合わせて開館時間を延長しているほか、休館日は設けず柔軟な運営を行うことで、市民サービスの向上に努めていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	管理運営に必要な人員が配置されていた。
従事者の労働環境確保	—	地域住民による管理のため対象外。
従事者の教育・研修	—	地域住民による管理のため対象外。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態に対する対応（準備）が出来ていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	年度事業計画書、年度収支計画書、四半期業務報告書、年度事業報告書等が提出期限内に適切に提出されていた。
口座管理、経理の区分	—	指定管理料がないため対象外。
通帳、印鑑の管理	—	指定管理料がないため対象外。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	届出の必要な事例なし。
指定管理開始前における準備	—	21年度から25年度、26年度から30年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	21年度から25年度、26年度から30年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が適切に行われていた。 (使用制限、入場拒否等の事例はなし。)
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況		
指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況	◎	定期的に利用する団体の増加により、利用件数及び利用者数は前年度を上回っており、地域の交流の場として利用されていた。 平成 25 年度実績 664 件 7,672 人 平成 26 年度実績 550 件 8,035 人 平成 27 年度実績 660 件 8,404 人
その他の取組 (運営に関する工夫)	○	地域貢献活動に取り組む中学生に館内清掃の協力を得る等、地域との交流を図っていた。

3 収支状況		
指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の収支状況	—	施設の維持管理に要する経費は、指定管理者が徴収する実費徴収金等で賄われていた。

4 運営に係る体制整備状況等の状況		
指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	苦情・要望等を随時聞き取り、運営管理に反映させるよう努めていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	利用の際に設備の利用方法を周知するなど適切に実施されていた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等を随時受付する体制が整備されていた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等が無かった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	節電や節水を呼びかけ、環境への配慮を適切に行っていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
	実施状況
自主点検状況	毎日、朝と夕方に施設内を点検し設備や備品の状況把握に努めた。

2 定期モニタリング

定期報告状況	実施状況
	四半期業務報告書や年間事業報告書等が提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング

実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	3回	5月25日	GL、担当	管理運営状況実地調査
		10月28日	担当	施設の管理運営状況確認
		3月16日	GL、担当	修繕箇所検査（FFストープ）
実施結果				
設備及び備品の管理が適正に行われていること、また施設に異常がないことを確認した。				

※GL：グループリーダー